

はじめに

JACR Monograph は、地域がん登録全国協議会が開催します学術集会の記録集として、平成 7 年に創刊され、今回で 20 刊目となります。前回の第 19 刊の編集から、協議会内に編集委員会を設け、学術集会記事に加えて投稿論文を査読プロセスを経て掲載することになりました。投稿論文の研究分野は、地域がん登録資料や政府関係資料を用いたがんの記述疫学研究、院内がん登録資料を用いた病院のがん医療機能評価、がん対策の企画、評価、モニタリングに資する政策科学的研究、がん対策に関する専門的意見、提言およびこれらの研究分野の海外での事例紹介などです。今回は投稿論文の中から、原著 5 編、資料 3 編、提言 1 編を掲載しました。いずれの論文も、日本語で刊行されるがん記述疫学研究に特化した学術本のシリーズとして、相応しい内容のものであります。

また、本書の第 2 部として、平成 26 年 6 月 13 日に「がん登録推進法の成立をうけて」というテーマで中瀬 一則 三重大学医学部附属病院 がんセンター長が会長を務めました第 23 回 地域がん登録全国協議会学術集会（津市）の中から、会長講演、招請講演、学術奨励賞受賞講演、シンポジウム、一般演題 11 題および各県の登録室紹介 11 題の記事を掲載しました。シンポジウムの記録は、去る 12 月 6 日に成立し、2016 年 1 月に施行となります。がん登録推進法に基づく法定受託事務としての都道府県の登録事業のあり方を考えるうえで、示唆に富んだ記録となりました。

本書が、皆様のがん登録事業やがん記述疫学研究への関心を高め、より良いがん対策に向けた日々の活動の一助になれば幸いです。最後になりましたが、第 23 回学術集会の開催準備と同集会の記事原稿の取りまとめに多大なご尽力をいただきました、三重県地域がん登録室の福留 寿生博士に、深謝いたします。

平成 26 年 11 月

JACR Monograph
編集委員会